

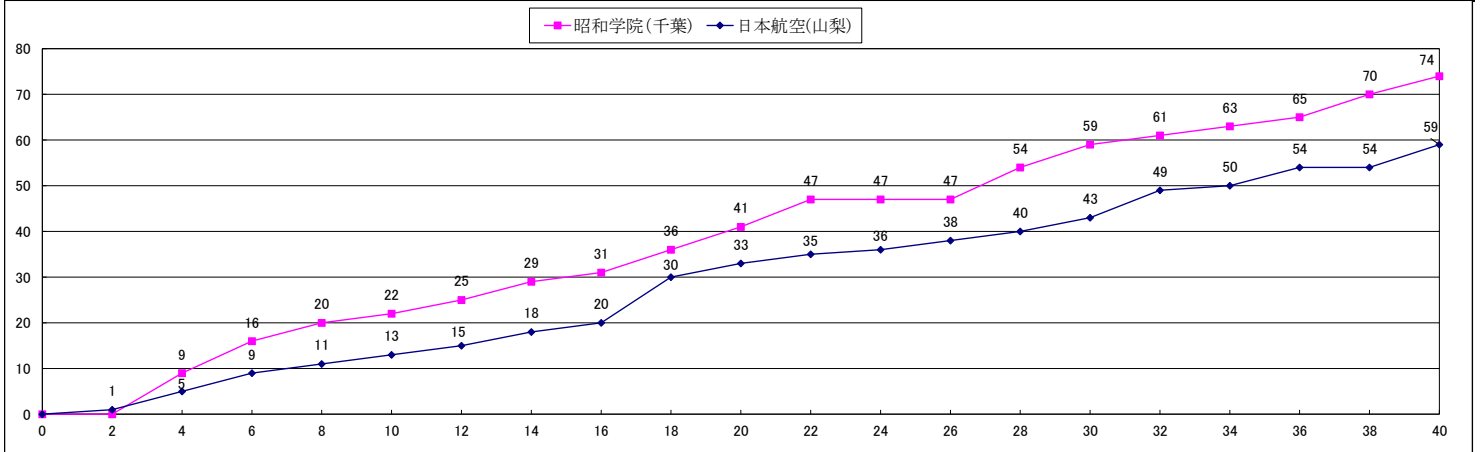
試合No.	D1	大会名	令和4年度 第33回関東高等学校バスケットボール新人大会														
		期 日	令和5年2月12日(日)				会 場				小田原アリーナ						
女子2回戦	CC	村上 恵美				U1				藤林 比登美				U2		小野寺 美帆	
		チーム名								1Q	2Q	3Q	4Q	OT1	OT2	Final Score	
		日本航空(山梨)								13	20	10	16			59	
		昭和学院(千葉)								22	19	18	15			74	

日本航空(山梨)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
森田 椿彩	* 0	8	1	2	50%	2	3	67%	1	2	50%	3	4	1	0	0	2	4
藤井 花	5	10	0	3	0%	4	8	50%	2	3	67%	3	2	2	1	0	1	3
皆川 乃亜	6																	
櫻田 しずか	9																	
大柴 沙和	* 11	15	2	12	17%	4	12	33%	1	2	50%	1	2	4	1	1	5	1
塚本 響子	15																	
稲熊 彩瞳	16	3	1	2	50%	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
原 優月	18																	
後藤 梨音(CAP)	* 21	10	0	7	0%	3	6	50%	4	5	80%	2	0	0	1	0	2	3
中村 萌愛	* 23	4	0	1	0%	2	4	50%	0	0		0	3	1	0	0	0	0
林 姫歌	28																	
古畑 美咲妃	31																	
宮下 世風	32																	
SOETAN OYINKANSOLA SHADE	* 42	9	0	0		4	6	67%	1	2	50%	8	9	0	1	0	2	2
戸澤 美智琉	88	0	0	0		0	0		0	0		0	0	1	0	0	0	1
コーチ 蒲生 壮扶																		
合計		59	4	27	15%	19	39	49%	9	14	64%	17	20	9	4	1	12	14

昭和学院(千葉)

氏 名	NO	得点	3PTS			2PTS			FT			REBOUNDS		A	ST	BS	TO	F
			成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	成功	試投	AVG.	OR	DR					
清水 さくら(CAP)	* 4	10	2	5	40%	2	5	40%	0	0		0	5	2	1	0	3	0
前田 珠涼	5	7	1	2	50%	2	2	100%	0	0		0	0	0	0	0	2	0
吉川 佳那	6																	
渡部 結	* 7	13	1	6	17%	5	6	83%	0	2	0%	2	6	2	4	2	3	2
殖栗 佳徳	* 8	19	1	1	100%	7	18	39%	2	2	100%	3	4	2	2	1	0	1
月松 蒼	* 9	10	2	7	29%	1	8	13%	2	2	100%	2	0	1	4	0	0	2
長谷部 こころ	10	12	0	0		4	4	100%	4	5	80%	2	6	1	3	0	3	1
山下 笑侖奈	* 11	0	0	1	0%	0	2	0%	0	0		1	0	0	0	0	0	1
寿原 理彩	12																	
高橋 優	13	0	0	1	0%	0	0		0	0		1	1	1	0	0	0	2
衛藤 伶奈	14	3	1	2	50%	0	1	0%	0	0		1	0	0	0	0	0	1
浜松 あかり	15	0	0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0
赤尾 さやか	16																	
辻 菜々子	17																	
植草 双葉	18																	
コーチ 鈴木 親光																		
合計		74	8	25	32%	21	46	46%	8	11	73%	12	22	9	14	3	11	10



戦評

1Q 両チームマンツーマンでスタート。開始2分間両チームとも動きが硬く、得点が入らず、日本航空#42のゴール下でのシュートから得点が動き始める。中盤、昭和学院#4の3ptsや#8・#7のミスマッチを活かしたポストプレーで点数を重ね9-20と点数が離れる。しかし、日本航空#42のリバウンドシュートや#21と#42のスクリーンプレーで点差を詰め、13-22昭和学院リードで1Q終了。

2Q 立ち上がり昭和学院#9の3ptsで流れを掴む昭和学院。1Qと変わらず、ミスマッチを活かしたセンタープレーやドライブで点数と日本航空のファウルを積み、開始3分でチームファウルを4つ積んでしまう。昭和学院のディフェンスは#42のセンタープレーやオフェンスリバウンドを抑えるために中を固めてディフェンス。日本航空はそこで起こるギャップを活かし、3ptsや1on1で応戦するが、点数を重ねることができず、中盤で1つ目のタイムアウトを取る。タイムアウト終了後、1-2-1ゾーンプレスから1-3-1ゾーンで相手のミス誘い、速攻で得点を積み重ね、8点差まで縮めて33-41昭和学院リードで終了。

3Q 序盤日本航空#42、昭和学院#10や#11両チームともに、高さのミスマッチを活かしたプレーで攻防が行われる。昭和学院#10のリバウンドシュートが2本連続で決まると、たまたま日本航空はすぐさまタイムアウトを取る。しかし、その後も昭和学院の激しいプレッシャーディフェンスからダブルチームもうまく決まり、またオフェンスリバウンドも果敢に取りに行く昭和学院は、日本航空に流れを与えず、点差をキープ。中盤38-49で折り返す。日本航空#42を怪我でベンチへ下がる。パッシングなどで速い展開で応戦するが、高さのミスマッチを活かされ、さらに昭和学院#4がいよいよ所で3ptsを決め、一気に突き放す。最後昭和学院#7がブザービーターを決め、43-59で昭和学院リードで終了。

4Q 序盤昭和学院#8や#10の高さのミスマッチを活かし、攻める。一方、日本航空は#11がスピードを活かしたドライブでファウルをもらいながらレイアップを決め、応戦。開始2分日本航空#42がコートに戻る。オールコートプレスにより#21がカットし、速攻を成功。その後、1-3-1のゾーンに再び戻し、粘りをみせ中盤52-63で折り返す。昭和学院スペースをうまく使い3ptsを打つものの決まらず、攻めあぐねる。しかし、終盤昭和学院オフェンスリバウンドからの#8の3pts成功で流れを持ってくる。再び#42がベンチへ下がり、オールコートプレスで最後まで粘りをみせたものの、昭和学院は高さのミスマッチをうまく活かし、オフェンスリバウンドからの得点やポストプレーでの得点を重ね点差が一気に開き59-74で昭和学院が勝利する。